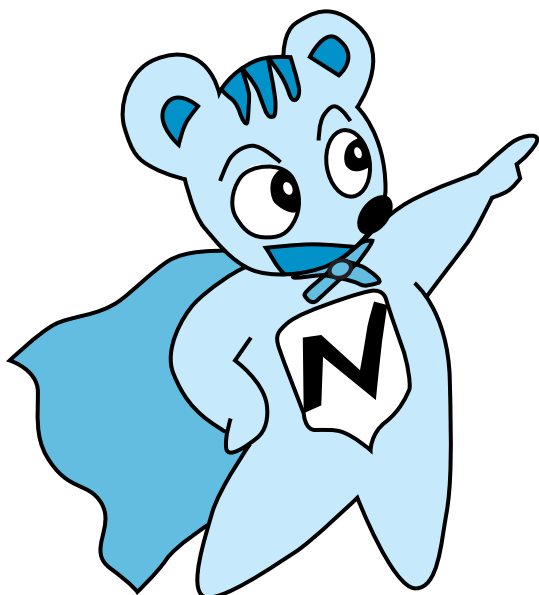


# なりきちって 知ってる？



子どもたちの体験活動を促進するため、平成11年に発足した成田市子どもセンター協議会では、子どもに関するさまざまな情報の収集・紹介などを行う「成田市子どもセンター」を運営し、イベント情報紙「なりきち」を発行しています。本号では、「なりきち」の編集作業を行っているボランティアのみなさんの活動を紹介します。

## 体験活動の情報を 子どもたちに

完全学校週5日制がスタートして二年余り。子どもたちにとって、体験・奉仕活動の機会は、ますますその重要性を増しています。

そうした中、自主的運営でさまざまな体験活動の機会を発掘し、提供しようとする試みが行われています。

平成11年に発足した成田市子どもセンター協議会(加瀬間勝範会長)は、子どもたちの体験活動に関するさまざまな情報を収集・紹介するボランティア機関です。協議会では、情報を収集・紹介する成田市子どもセンターへ市立図書館2階で土・日曜日に開設)を運営すると同時に、イベント情報紙「なりきち」を発行し、子どもたちに必要な体験情報を提供しています。

## 創刊4年目を迎えた 「なりきち」

みなさんは情報紙「なりきち」を見たことがありますか。

平成11年に「子どもセンター通信」の名で創刊され、4年目を迎えたことし7月には第18号が発行されました。

紙面上には、市内・近隣のさまざまな子ども向け体験活動の情報が、イベント



楽しいイベント情報がいっぱいの「なりきち」

カレンダー形式で紹介されています。

そのほか、今、旬なものや注目されていることなども積極的に取り上げ、子どもから大人まで一緒に楽しめる内容になっています。

第13号(平成14年7月15日発行)からはより親しみをもってもらえるように、市民公募により名称を「なりきち」と改め、マスケットキャラクター「チョコット」の上のリスのイラスト(を登場させるなど)さらに楽しく読める工夫が図られています。

「なりきち」は、保育園・幼稚園・小学校を通じて、各家庭に無料で配布されています。

また、市内の公共施設や郵便局、一部のデパートやコンビニエンスストアにも置いてありますので、気軽に手にしてみたいかがでしょうか。

## 編集ボランティアが 企画から校正まで

「なりきち」をつくっているのは、成田市子どもセンター協議会に登録する編集ボランティアのみなさんです。現在、男女11人が編集作業に当たっています。

ボランティアのみなさんは、それぞれ普段は会社員、主婦、ほかのボランティア活動と、忙しい毎日を通しています。1カ月をかけて「なりきち」をつくり上げています。

「なりきち」づくりは、編集会議から始まります。ここで、次号の紙面構成や編集方針が決定されます。

方針が決まると、情報の収集と選別です。行政からの情報だ



作業は編集会議からスタート



収集した情報を原稿に

けでなく、地域  
のサークルや民間  
機関が開催するイベントなど、自分の身の周りの身近な話題も集めていきます。

また、編集ボランティア自ら取材に出掛け、話を聞いたり、実際に参加して体験してみることもあります。こうして集められた情報は、次の編集会議に持ち寄られ、掲載の適否が話し合われます。

掲載する情報が決まると、原稿づくりと紙面レイアウトです。コーナーごとに担当が決められ、さらに情報の細部を確認したうえで「見やすく、楽しく」を基本に、手書きによる原稿づくりが行われます。

できあがった原稿は、次にパソコン担当のボランティアへ。原稿を入力しながら、読者の目を引く見出しを入れたり、楽しいイラストなどが加えられていきます。

最後に読み合わせなどの校正作業を行い、最終原稿が完成します。

もちろん、全員が編集作業に毎回参加できるわけではないので、みんなで役割



楽しい紙面にしたいよね

を分担し、協力しながら無理のないスケジュールで取り組んでいます。

## 子どもたちのために 自主企画事業も

編集ボランティアの活動は、「なりきち」の編集だけではありません。

平成14年2月には、初めての自主企画事業「まつりずしをつくろう」を開催し、参加した子どもたちや保護者にたいへん好評でした。

その後も、「ネイチャーゲーム」松ぼっくりツリーをつくる、「オカリナを吹こう」房総かるたで遊ぼう、「なぎなた道を知る」など、趣向を凝らした事業を継続して実施したり、国際市民フェスティバ

ルや子ども会まつりなどのイベントにも参加し、子どもたちのために体験の場を提供しています。



講師は中学生のお姉さん(房総かるたで遊ぼう)

情報紙の発行やイベントの開催を通して、子どもたちの体験活動の機会を広げているボランティアのみなさんの今後の活躍が、大いに期待されます。

子どもセンター編集ボランティアについてくわしくは生涯学習課 ☎ 20583(へ) 1

## 身近で楽しいイベントを より多く



「なりきち」編集長  
宮本真由美さん

子どもセンター協議会の委員をしているうちに、情報紙づくりにも興味をもち、編集ボランティアになりました。今は、編集長という立場ですが、編集会議の日程決めからお弁当の手配まで、いわば雑用係みたいなものですね。「なりきち」の4コママンガも、娘に描かせていますし、老若男女でがんばっているって感じです。

ほかのメンバーと顔を合わせることが、一番の楽しみですね。おしゃべりに花が咲き、編集作業に影響がでることも…。素人なので、パソコンのことや印刷用語などが分からなくて苦労していますが、「身近で楽しいイベントをより多く」をモットーに、年5回の発行を今後も継続していきたいと思えます。

子どもに関するイベント情報がありましたら、ぜひわたしたちにお知らせください。また、わたしたちの企画するイベントも開催していきますので、そちらもお楽しみに。